

今年もあと残すところ 10 日余り。明日 (12/22) は冬至です。朝の霜もだんだんと強い色合いで地面を覆うようになってきました。そして、晴れた日には空気がピンと澄み渡って遠くまでよく見渡せます。今回は、地面と遠くの眺めと、欲張って二つの違う視点の観察をしてみましょう。

モグラ塚を観察してみよう

この観察会では“定番”とも言えるモグラ塚の観察ですが、今回はちょっと趣向を変えて観察してみます。トンネルを掘ったとき、かき出されてこんもりと盛り上がったモグラ塚の土をどかすと、トンネルの開口部がぼっかりと空いています。この口の先を見たいと思っても、大々的に土を掘らなくてはいけません。しかも、慎重に掘らないと、すぐに崩れてしまいます。そこで、発泡ウレタンフォームという充填(じゅうてん)剤をこの穴に流し込んでみると・・・さてこの先は、観察会でのお楽しみです。



霜の降りたモグラ塚



モグラ塚をどかして見えるトンネル口



トンネルの途中から発泡ウレタンを注入

相模原から見た丹沢

博物館(中央区高根)から南西方向を見ると、丹沢山塊を見渡すことができます。丹沢最高峰、つまり、神奈川県最高峰の蛭ヶ岳(1672.7m)も、相模原市の山です。丹沢主稜と呼ばれる、東西に延びる尾根からなだらかに大山へと続く山並みが、雪をまとうって美しい季節になりました。相模原から見える代表的な山の名前と標高を憶えておくと、ほかの地域から来た人をご案内するとき役立ちます。



次回のお知らせ
ミニ観察会：1月25日(土)12時から
新聞 No.34 も観察会にあわせて発行します。